

東アジア日本研究者協議会第8回国際学術大会(台湾大会)

2024年11月8日(金曜日) 淡江大学淡水キャンパス(新北市淡水区英専路151号)

時間	場所	プログラム
12:00-13:00	守謙国際会議中心 2階	受付
13:00-13:30	守謙国際会議中心 3階(有蓮庁)	開会式 東アジア日本研究者協議会の経緯 徐 興慶(台湾発起人・元中国文化大学学長・ 東呉大学講座教授) 第8回国際学術大会の開催報告 曾 秋桂(実行委員長) ご来賓祝辞 陳 小雀(淡江大学国際交流副学長) 塩澤 雅代(国際交流基金日本研究事業第1チーム長) 山崎 裕紀(東芝国際交流財団専務理事) 司会 樋口 達郎(淡江大学助理教授)
13:30-13:40		休憩
13:40-14:40	守謙国際会議中心 3階(有蓮庁)	座長 東呉大学特聘教授 頼 錦雀 生成式 AI 對人文社會領域研究的新契機 淡江大学資訊工程学系特聘教授 張 志勇
14:40-14:50		休憩

14:50-15:50	守謙国際会議中心 3 階(有蓮庁)	<p>座長 台湾発起人・元中国文化大学学長・東呉大学講座教授 徐 興慶</p> <p>東アジアという時空間を捉え直す—空間学と民際史による視圏の転回—</p> <p>京都大学名誉教授 山室 信一</p>
15:50-16:00	休憩	
16:00-17:00	守謙国際会議中心 3 階(有蓮庁)	<p>座長 輔仁大学副学長 頼 振南</p> <p>移りゆく世界システムと世界文学—東アジアの中の日本—</p> <p>早稲田大学教授 森田 典正</p>
17:10-18:10	守謙国際会議中心 3 階 (ロビー、HC307、HC306)	ウェルカムパーティー(参加登録者とご来賓のみ)

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その1) 場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大棟

	【A1】「世界文学」の中の日本文学 T110 司会 石川隆男(台湾大学兼任助理教授)	【A2】日本研究と文化表象 T212 司会 黄如萍(高雄餐旅大学准教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T505 司会 林玉恵(輔仁大学教授)	【A10】東アジアの高齢社会問題・福祉問題 T506 司会 王佑心(銘伝大学准教授兼学科主任)
9:00- 10:30	21世紀型スキルを育成する「日本文学教育」 —協働と学際からの問い直し— 広島大学 Ferreiro Damaso 広島大学 新井誠 神戸大学 永井敦 学習院大学 柳本大地 広島大学 李麗 新潟大学 畑有紀 中京大学 松山由布子	ミステリにみる東アジア地域表象 —上海・満州・台湾— 淡江大学 李文茹 輔仁大学 坂元さおり 早稲田大学 小松史生子 相山女学園大学 尹芷汐 高麗大学校 俞在真	戦後における戦争の記憶の表象 名古屋大学 星野幸代 日本映画大学 晏妮 関西学院大学 西村正男 名古屋大学 朱宇正 東北学院大学 城山拓也 立教大学 川崎賢子	東アジア高齢社会問題の諸相 高麗大学 宋浣範 高麗大学 何妨容 高麗大学 金泰逸 高麗大学 辛權始 淡江大学 王美玲
休憩 10:30-10:40				
	【A1】「世界文学」の中の日本文学 T110 司会 曹景恵(台湾大学教授兼学科主任)	【A2】日本研究と文化表象 T212 司会 廖秀娟(元智大学准教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T505 司会 林玉恵(輔仁大学教授)	【A10】東アジアの高齢社会問題・福祉問題 T506 司会 王佑心(銘伝大学准教授兼学科主任)
10:40- 12:10	六〇年代以降の歴史小説を読むための理論 多摩美術大学 AU KIN PONG JAMES 『朝鮮民報』の「短編小説リレー」における北朝鮮 への「帰国」 済州大学校 吳恩英	表象としての王と王権 政治大学 楊素霞 台湾大学 田世民 忠南大学 金銀貞 政治大学 山藤夏郎 石川工業高等専門学校 永井隆之 北海学園大学 片岡耕平	新しい時代に適応するための人材開発戦略 台中科技大学 黄英哲 静宜大学 古賀悠太郎 台北商業大学 吳秦芳 静宜大学 頼衍宏 科学技術振興機構(JST) 黄鴻堅 呉鳳科技大学 林志達	中山間地域の買物支援を目的とした 送迎サービスにおける車内会話の分析 東京国際大学 酒井晴香
昼食休憩 12:10-13:00				
		【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T212 司会 黄如萍(高雄餐旅大学准教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T505 司会 林玉恵(輔仁大学教授)	【D】その他 T506 司会 吳翠華(元智大学准教授)

13:00- 14:30		物語空間におけるモビリティー日本と台湾の 児童文学における鉄道旅行の象徴 大阪教育大学 成實朋子 関西学院大学 齋木喜美子 Bologna University Maria Elena Tisi 東呉大学 張桂娥 東京大学 安ウンビョル	植民地・租界の美術と美術史 南京大学 李趙雪 台湾大学 邱函妮 九州大学 楊昱 中央研究院 鈴木恵可 東京大学 柯輝煌 東洋英和女学院大学 Kolodziej, Magdalena	消費社会日本とその遺産： 「消費」の可能性を中心に ソウル大学 李垠庚 ソウル大学 徐東周 立教大学 貞包英之 ソウル大学 金孝眞 淡江大学 李文茹
休憩 14:30-14:40				
	【D】その他 T110 司会 黄英哲(台中科技大学教授)	【A2】日本研究と文化表象 T212 司会 廖秀娟(元智大学准教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T505 司会 林玉恵(輔仁大学教授)	【A2】日本研究と文化表象 T506 司会 王美玲(淡江大学准教授)
14:40- 16:10	中上級日本語授業における多読導入の試み 元智大学 吳翠華 静岡大学 佐々木良造 拓殖大学 尾沼玄也 1940年代における大日本帝国陸軍台湾人兵士 のエートスに関する一考察 —KH コーダーによる証言記録の分析を中心に— 総合研究大学院大学 菅陽子 日本における排出量取引制度の導入に向けた課 題と展望 京都産業大学 井口正彦	英国人写真家フェリーチェ・ベアトの 作品に見る日本人の表象 東北学院大学 矢島真澄美 ノンネイティブ日本語教育実習生の豊かな 学びの機会創出への提案—社会人基礎力 に注目したネイティブ実習生との共修を通し て 大阪産業大学 中山英治・春口淳一 日本の保育文化・子ども文化における 年中行事の表象に関する分析 鹿児島国際大学 丸田愛子 鹿児島女子短期大学 佐藤慶治	都市空間におけるモビリティ： 多角的な視点からの探求 東呉大学 張桂娥 東京大学 安ウンビョル 東呉大学 田中綾子 中興大学 陳建源 開南大学 陳姿菁	異文化コミュニケーションにおける 「型の文化」の理解 —高等教育における科目間連携事例に基づく検討— 愛知大学短期大学部 須川妙子・杉本貴代 日本の文化表象としての竹 北九州市立大学 岩松文代
18:00- 19:30	懇親会(將捷金鬱金香酒店 新北市淡水區中正路一段 2-1 號 1F 宴会庁 TEL.886-2-2621-0333、参加登録者とご来賓のみ、座席表通りのテーブル座席) 淡水河河畔散策後、現地集合			

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その2)場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その2)場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼				
	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T401 司会 梁基雄 (翰林大学グローバル協力大学院院長)	【B2】東アジアにおける経済、資本と国家 T404 司会 王天保(高雄科技大学准教授)	【A2】日本研究と文化表象 T601 司会 徐東周(ソウル大学助教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T604 司会 伊藤豊(日本比較文化学会副会長)
9:00-10:30	日中韓の近代アジア主義研究の新展開 —政治史・外交史・思想史の視点から— 国土舘大学 久保田裕次 神戸大学 安田貴雅 成蹊大学 韓相一 京都大学 呉舒平 ノートルダム清心女子大学 久野洋	日台産業連携と日本経済関連課題の探究—その1 台中科技大学 黎立仁 真理大学 林冠汝 台中科技大学 葉東哲 真理大学 吳嘉鎮 台中科技大学 梁秀慶 同志社大学 木村多嘉子	三里塚の映画の上映運動とその課題—小川プロダクション旧蔵資料内のミニコミに着目して— 早稲田大学 長島祐基	在日外国人子育て家族の暮らし:不安定な住まいから見えてきた現実 国際日本文化研究センター 孫詩彧 林芙美子の旅行記における「台湾」と「満洲」—《愉快なる地図》から見る— 東呉大学 林雪星
			小川プロダクション「三里塚映画」の上映運動を支えた情動と関心 日本大学 原山浩介	
			一次資料に基づく戦後日本の記録映画研究の本格展開に向けて—小川プロダクション資料を事例に— 長野大学 相川陽一	
休憩 10:30-10:40				
	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T401 司会 成玟珂(韓国日語教育学会副会長)	【B2】東アジアにおける経済、資本と国家 T404 司会 全成坤(翰林大学教授)	【A2】日本研究と文化表象 T601 司会 廖倫凱(六和高校教諭)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T604 司会 徐興慶(東呉大学講座教授)
10:40-12:10	政治改革と自民党政権のレジリエンス 慶應義塾大学 清水唯一朗 釜山大学 李柱卿 淡江大学 徐宏馨 政治大学 林超琦	日台産業連携と日本経済関連課題の探究—その2 台中科技大学 黎立仁 台中科技大学 李嗣堯 台中科技大学 曾耀鋒 台中科技大学 張銘今 同志社大学 木村多嘉子 台中科技大学 梁秀慶	錦絵「土族の商法」の「発見」 大阪経済大学 内山一幸	東アジアにおける文化の再構築と異文化理解 三重大学 服部明子 高雄餐旅大学 蘇紋槿 東アジアにおけるメガイベントの社会学的比較研究に向けて—大阪と上海の万博の事例を手がかりに— 滋賀県立大学 丸山真央
			空海の動物観について—「十巻章」を中心に— 東京未来大学 森下一成	
昼食休憩 12:10-13:00				

	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T401 司会 松永典子(九州大学教授)	【B2】東アジアにおける経済、資本と国家 T404 司会 八尋春海(日本比較文化学会前会長)	【A2】日本研究と文化表象 T601 司会 林雪星(東呉大学教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T604 司会 廖倫凱(六和高校教諭)
13:00-14:30	1960年—70年代の東アジア国際関係と「インド・太平洋」概念 京都大学 奈良岡聰智 国際日本文化研究センター 楠綾子 京都大学 Kim Minjun 関西学院大学 加藤博章	日台産業連携と日本経済関連課題の探究—その3 台中科技大学 黎立仁 真理大学 林冠汝 同志社大学 木村多嘉子 台中科技大学 宋文龍 台中科技大学 葉東哲 台中科技大学 梁秀慶	1930年代前半の日本における政治結社の自由とその限界：結社規制法の解釈・運用過程を手がかりとして 琉球大学 萩原淳 東アジアにおける文化表象としての端午節と菖蒲 熊本大学 日高愛子・北京理工大学 嚴茹蕙 東アジアにおける茶文化の展開と変容 広島県立歴史博物館 石橋健太郎 淡江大学 廖育卿	「開発主義」は日本の移民政策をどこまで説明できるのか—2019年入管法の制定課程をめぐって 早稲田大学 樋口直人 留学生が感じる日本社会での市民リテラシーの醸成と発揮 一般社団法人 Kaigo と日本語つむぎの会 中野玲子
休憩 14:30-14:40				
	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T401 司会 王天保(高雄科技大学准教授)	【A2】日本研究と文化表象 T404 司会 梁蘊嫻(元智大学准教授)	【A2】日本研究と文化表象 T601 司会 曹景恵(台湾大学教授兼学科主任)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T604 司会 八尋春海(日本比較文化学会前会長)
14:40-16:10	日韓台における政党・政治家と市民の政治参加：社会運動と選挙活動を中心として 常葉大学 杉村豪一 日本学術振興会 高岡聖奈 建国大学校 金容民 政治大学 金想容 中華医事科技大学 野口英佑 神戸大学 木村幹	冷戦期東アジア映画における「伝統」の交錯と流転：『烈女門』、『貞節牌坊』、『董夫人』における未亡人の表象を中心に 東京大学 韓瑩 消費者にとっての総合ディスカウントストア「ドン・キホーテ」の文脈の検討 国際大学 菊池映輝	「マルハラ」に見る敬語意識の変化 福井大学 鈴木梓 表象としての時間と日本古代・中世の徳政 北海学園大学 片岡耕平	トランスナショナル起業と起業家たちの適応戦略—日本における華人華僑起業家の事例を中心に 福岡県立大学 陸麗君 東アジアにおける越境的自画像の形成：沖縄県の「世界のウチナーンチュ」をめぐる考察 同志社大学大学院 李真熙 市民リテラシー醸成のワークショップを受けた日本語教育関係者の変容 早稲田大学大学院 山下千聖・横山りえこ 明治学院大学 奥村恵子
18:00-19:30	懇親会(将捷金鬱金香酒店 新北市淡水區中正路一段 2-1 號 1F 宴会厅 TEL.886-2-2621-0333、参加登録者のご来賓のみ、座席表通りのテーブル座席) 淡水河河畔散策後、現地集合			

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その3) 場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その3) 場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼				
	<p>【A6】東アジアにおける社会運動 T605 司会 王薇婷(淡江大学非常勤助理教授)</p>	<p>【A7】東アジアにおける思想交流 T606 司会 金孝眞(ソウル大学助教授)</p>	<p>【A8】東アジアにおける歴史認識問題 T701 司会 羅濟立 (東呉大学東アジア地域発展研究センター主任)</p>	<p>【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T702 司会 南基正(ソウル大学教授兼院長)</p>
9:00- 10:30	<p>初期三里塚闘争における組織化と日本社会党 聖学院大学 今井勇</p>	<p>清末雑誌『教育世界』と背景としての 日中文化交流 —中国に紹介された日本・日本に紹介された 中国— 新潟大学 小島明子</p>	<p>植民地台湾・朝鮮における 医療衛生体制の形成 国際日本文化研究センター 松田利彦 台湾師範大学 許佩賢 中央研究院 陳延媛 総合研究大学院大学 劉影</p>	<p>満州通信問題から見る日露戦争後の日露関係 京都大学 望月みわ</p>
	<p>日本の「第二波」フェミニズム史像の図地反転: 新左翼系女性組織による機関誌発行に着目して 大阪大学大学院 牧野良成</p>	<p>日韓の女性法曹黎明期における思想的背景 —アメリカ法学・法実務の影響をめぐって 立正大学 岡崎まゆみ 東京理科大学 神野潔</p>	<p>1960年代初頭日本社会での「台湾論」 —「台湾研究」の嚆矢としての『台湾の表情』 淡江大学 富田哲</p>	<p>日中戦争勃発後の日中「経済提携」論—和平工作から 対日協力政権との「提携」まで— 日本学術振興会 矢野真太郎</p>
	<p>2021年の入管法廃案と非正規滞在者 —「存在しない人」が動かした社会運動 上智大学 稲葉奈々子</p>			
休憩 10:30-10:40				
	<p>【A6】東アジアにおける社会運動 T605 司会 羅曉勤(台中科技大学教授)</p>	<p>【A7】東アジアにおける思想交流 T606 司会 伊藤豊(日本比較文化学会副会長)</p>	<p>【A8】東アジアにおける歴史認識問題 T701 司会 松田利彦 (国際日本文化研究センター副所長)</p>	<p>【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T702 司会 山内信幸(日本比較文化学会副会長)</p>
10:40- 12:10	<p>先住民文化の継承と観光資源化における現状と課題 —日本と台湾を事例に 札幌国際大学 池見真由・陳堯柏</p>	<p>「鹿地魯迅」の可能性: 貫戦期における 日本の魯迅像の政治性をめぐって 名古屋大学 胡勝</p>	<p>「健康満州」のイメージがいかに描かれた のか—満州のメディアと衛生知識の流通— 東北大学 王楽</p>	<p>明治政府の外交戦略と黒田清隆: 1873-1876年 武蔵野学院大学 久保田哲</p>
		<p>内藤久寛の「日華親善論」 —1917年の視察を中心に 東北大学 何琦璠</p>	<p>戦争レジームから観光レジームへ: 1960 年代の日本映画『シンガポールの夜は更 けて』に見る大衆的東南アジアイメージ 大月短期大学 松岡昌和</p>	<p>レアアースサプライチェーンの強靱性: 日米経済安全保障協力の観点から 政治大学 楊雯婷</p>

	<p>議事堂侵入・占拠と抵抗権 —1960年日本と2014年台湾を中心に</p> <p>東京都立大学 佐藤信</p>		<p>昭和天皇の象徴天皇制認識 —『昭和天皇拝謁記』を中心に</p> <p>名古屋大学大学院 河西秀哉</p>	<p>戦後国際社会と東アジアの代表性をめぐる角逐 —国際司法裁判所選挙と日本・中華民国・米国、 1954-1966</p> <p>成蹊大学 澤井勇海</p>
昼食休憩 12:10-13:00				
	<p>【A6】東アジアにおける社会運動 T605 司会 宋浣範(高麗大学教授)</p>	<p>【A7】東アジアにおける思想交流 T606 司会 徐興慶(東吳大学講座教授)</p>	<p>【A8】東アジアにおける歴史認識問題 T701 司会 楊琇媚(南台科技大学准教授)</p>	<p>【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T702 司会 王美玲(淡江大学准教授)</p>
13:00- 14:30	<p>一九五〇年代・安部公房の科学観</p> <p>京都大学 糸賀寛</p>	<p>黄遵憲の「勢」論</p> <p>総合研究大学院大学 蘇文博</p>	<p>戦後日本の児童文学と戦争記憶の 再編成 —「満州」体験の作品を手がかりに お茶の水大学 魏晨</p>	<p>こども家庭庁とこども基本法の 政策形成過程分析</p> <p>慶應義塾大学 小寺直子</p>
		<p>超国家主義から国民主義へ： 戦中と戦後の間における丸山真男の孫文論</p> <p>名古屋大学 王同塵</p>	<p>現代日本の社会における女性の活動の 現状 モンゴル国立大学アジア研究学科 Togtuun Erdenesan</p>	
		<p>戴曼公の аспекトについて</p> <p>東京大学 顧嘉晨</p>		
休憩 14:30-14:40				
	<p>【D】その他 T605 司会 林立萍(台湾大学教授)</p>	<p>【A9】東アジアにおける諸宗教の交流 T606 司会 頼鈺菁(淡江大学助理教授)</p>	<p>【A8】東アジアにおける歴史認識問題 T701 司会 宇佐美まゆみ (東京外国語大学名誉教授)</p>	<p>【A8】東アジアにおける歴史認識問題 T702 司会 頼雲荘(台中科技大学准教授)</p>
14:40- 16:10	<p>ESDにおけるステークホルダー協働の国際動向と統合 ステークホルダーシップ・モデルの可能性</p> <p>京都橘大学 早川有香</p>	<p>日本のカトリック厳律シトー修道会 に見る近代化</p> <p>東京大学 柴田香奈子</p>	<p>アーカイブ行為を通じたアジア・ 太平洋戦争の記憶の構築 —「台湾」をめぐる証言の交差点としての NHK 戦争証言アーカイブ 大妻女子大学 佐藤信吾</p>	<p>莫言の「魔術的リアリズム」が映し出すもう一つの中国 近現代史—『赤い高粱一族』『白檀の刑』『豊乳肥臀』 『転生夢現』『蛙鳴』『四十一炮』を手掛かりに— 宇都宮大学 耿義</p>

	視線計測装置を用いた状況文描写における視線位置の 可視化 —日本語母語者と日本語学習者の視線分析— 流通科学大学 佐古恵里香	【A2】日本研究と文化表象 富士谷御杖の言語思想 —「言霊」の解釈を中心に— 淡江大学 樋口達郎	日本の歴史教育における問題点： アジア・太平洋戦争の歴史認識 桜美林大学 中生勝美	仙台藩漢学者の「大陸雄飛」に関する —考察—明治初期の地誌書を手がかりに— 仙台高等専門学校 閻秋君
			沖縄人の歴史的記憶と戦争記憶： 戦後沖縄の神社再建問題から考える 京都大学 陳志剛	「満洲国」建国段階における関東軍統治部の 教育政策立案 東北大学 張小栄
18:00- 19:30	懇親会(將捷金鬱金香酒店 新北市淡水區中正路一段 2-1 號 1F 宴会庁 TEL.886-2-2621-0333、参加登録者のご来賓のみ、、座席表通りのテーブル座席) 淡水河河畔散策後、現地集合			

11月9日(土曜日)一般発表・パネル発表(その4) 場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼

	【C2】AI・DX と共生する日本語教育 T703 司会 范淑文(台湾大学兼任教授)	【D】その他 T704 司会 羅曉勤(台中科技大学教授)	【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T705 司会 山内信幸(日本比較文化学会副会長)	【A5】東アジアにおける社会とジェンダー T808 司会 楊琇媚(南台科技大学准教授)
9:00- 10:30	AI 自動翻訳の精度分析 —日中翻訳校閲カテゴリ体系を通して— 静宜大学 李偉煌	官営移民「吉野村」の経営理念と武者小路実篤の「新しき村」 名古屋大学 釋七月子	日本刑事事件判決文の語彙分析 —司法通訳の養成に向けて— 中国文化大学 蔡珮菁	映画や漫画にみられるジェンダー 元智大学 梁蘊嫻 明治大学 加藤健太 Kazimierz Wielki University Justyna Mickiewicz・陳力綺 岡山理科大学 藤城孝輔 京都精華大学 陳龔
	移民に対する成人教育の国際比較 —日本と台湾の夜間教室の事例から— 近畿大学 高橋朋子 大阪産業大学 中谷潤子	台湾と日本のグルメ番組(美食節目)の比較分析 九州共立大学 吉松孝	見出し文にみられる類語「アツイ」と「ホット(な)」の異同 —対象と言い回し・文脈の観点から— 北陸大学 大谷鉄平	
	AI・DX 時代の「日本留学」を再考する —ウィズコロナとアフターコロナ時代の留学生に対する聞き取り調査から見たもの— 中央大学 尹智鉉 武蔵野大学 藤本かおる	計画的偶発性理論の導入による職業意識に及ぼす効果 —大学生のキャリア形成を中心として— 文藻外語大学 董莊敬	日本と韓国における学校文化の比較から多文化共生を考える —PAC 分析による韓国人男性保護者の内面を通して— 久留米大学 S. M. D. T. RAMBUKPITIYA	
休憩 10:30-10:40				
	【C2】AI・DX と共生する日本語教育 T703 司会 王世和(東呉大学教授兼副学長)	【D】その他 T704 司会 吳翠華(元智大学准教授)	【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T705 司会 羅濟立 (東呉大学東アジア地域発展研究センター主任)	【A5】東アジアにおける社会とジェンダー T808 司会 王美玲(淡江大学准教授)
10:40- 12:10	AI・DX と共生する日本語教育を探って 祥明大学 張根壽 輔仁大学 賴振南 東北大学 林雅子	日本語教育に資する良質な例文作成に求められるもの —『ねっこ日日学習辞書』および「jreibunn」プロジェクトを通じた考察 東京外国語大学 鈴木智美 筑波大学 砂川有里子	現代日本語における臨時的な四字漢語についての考察 高雄大学 陳志文	日本における若年層のエイジェンシー評価とジェンダー 神戸大学 中原朝子 滋賀大学 山田和代 大阪公立大学 伊田久美子

	<p>淡江大学 曾秋桂 北洋大学 奥村訓代 高雄科技大学 葉淑華</p>	<p>日本の小正月民俗の社会的機能</p> <p>慶應義塾大学 笠井賢紀</p> <p>台湾近海における太平洋戦争時の沈没船 —「満星丸」を中心に</p> <p>淡江大学 頼鈺菁・李其霖</p>	<p>自立学習の調査結果と授業の感想から見た 学習者の学習行動 —日本語会話の学習者を例に</p> <p>開南大学 陳姿菁</p> <p>日中双方向学習者コーパスから見る日本語・中 国語の不定名詞句の第二言語習得</p> <p>富山大学 福田翔</p>	
昼食休憩 12:10-13:00				
	<p>【C2】AI・DX と共生する日本語教育 T703 司会 李偉煌(静宜大学准教授兼学科主任)</p>	<p>【C1】AI・DX と人間活動 T704 司会 葉淑華(高雄科技大学教授兼学部長)</p>	<p>【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T705 司会 陳志文(高雄大学教授兼中心主任)</p>	<p>【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T808 司会 頼振南(輔仁大学教授兼副学長)</p>
13:00- 14:30	<p>生成系 AI を用いた発表原稿評価の実験的検討 —聴衆による評価との比較から—</p> <p>国際医療福祉大学 永射紀子 宮崎大学 南部みゆき</p>	<p>海外の日本語教師がオンラインで研究会に継 続的に参加する要因</p> <p>東京大学 芹川佳子</p>	<p>感情分析ツールを活用したグループ討論 会話中の感情ダイナミクスの定量的分析</p> <p>淡江大学 施信余</p>	<p>日本における『今古奇観』の受容研究 —童話・青少年読物の考察を中心に—</p> <p>東北大学 劉偉婷</p>
	<p>日本語リメディアル教育に於ける AI 利用に関して</p> <p>北洋大学 奥村訓代</p>	<p>怪異・妖怪伝承データベースにおける 類似事例検索への AI 技術の適用</p> <p>国際日本文化研究センター 山田奨治</p>	<p>役割語によるキャラクター形成と SNS について —プロレスラー「グレート・オー・カーン」の SNS を 例に—</p> <p>南台科技大学 神作晋一</p>	<p>台湾と「いけ花」</p> <p>立命館大学 小林善帆</p>
	<p>生成 AI が研究・業務に与えるインパクト</p> <p>日本語教育支援協会 今井新悟</p>	<p>難民支援における AI を活用した多言語対応 —パターン・ランゲージによる<わざ>の記述</p> <p>慶應義塾大学 伴野崇生</p>	<p>日本語教育におけるナレーション教材の活用 —日本文化の素材に着目した音声教材の開発</p> <p>専修大学 王伸子</p>	
休憩 14:30-14:40				
	<p>【C2】AI・DX と共生する日本語教育 T703 司会 張根壽(祥明大学教授)</p>	<p>【C2】AI・DX と共生する日本語教育 T704 司会 川口慶子(韓国日語教育学会副会長)</p>	<p>【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T705 司会 羅濟立 (東吳大学東アジア地域発展研究センター主任)</p>	<p>【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T808 司会 董莊敬(文藻外語大学教授)</p>

14:40- 16:10	Computer vision がサポートした 日本地理歴史授業に関する教育研究 中華大学 簡曉花・張欽智	新しい日本語教育読解教材開発の試み —ChatGPT を用いた教材作成と授業実践 淡江大学 王嘉臨	日本語の名詞句と数量詞の統語構造 —副詞句としての遊離数量詞 淡江大学 菊島和紀	日本における外国人労働者の増加と労働現場 の意識変化 東京未来大学 郭潔蓉
	日本語の擬態語の第二言語習得/翻訳: 「記号接地」の視点から 東京外国語大学 望月圭子・張正	ChatGPT を活用した日本語ディベート授業の 実践と効果 淡江大学 堀越和男	中国人日本語学習者における談話標識 「いいえ」「いえ」「いや」の使用実態 —I-JAS を用いて習熟度別に— 東京外国語大学 彭津	近代日本の鉱業教育と台湾留学生 天理大学 長澤一恵
	AI 自動翻訳の活用とその課題 —LINE 事例を中心に 高雄科技大学 葉淑華		日本語教育における感動詞の研究 広島大学 林芝好	
18:00- 19:30	懇親会(將捷金鬱金香酒店 新北市淡水區中正路一段 2-1 號 1F 宴会庁 TEL.886-2-2621-0333、参加登録者とご来賓のみ、座席表通りのテーブル座席) 淡水河河畔散策後、現地集合			

11月10日(日曜日)次世代発表・未来フォーラム(その1)場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大樓

	【D】その他 T505 司会 許怡齡(文化大学准教授)	【A6】東アジアにおける社会運動 T506 司会 邱若山(静宜大学兼任教授)	【A8】東アジアにおける歴史認識問題 渥美財団未来フォーラム 驚声国際会議場(3階) 司会 藍弘岳(中央研究院副研究員)	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T601 司会 頼振南(輔仁大学教授兼副学長)	【D】その他 T604 司会 施信余(淡江大学准教授)
9:00 -10:30	(脱/新)植民地主義と他者づくり ソウル大学 南基正 ソウル大学 金 旭 ソウル大学 鄭信赫 政治大学 吳佩珍 早稲田大学 浅野豊美	ケア、グローバルシップ、スチューデント・パワー—21世紀的な相互扶助のアクターとは何か 慶応義塾大学 藤山土瑠那 東京大学 田中駿介 慶応義塾大学 源川まり子 明治大学 辻稀成 東京大学 林泉苗 青山学院大学 辻吉祥	疫病と東アジアの医学知識 ——知の連鎖と比較 1 中央研究院 藍弘岳 沖縄国際大学 市川智生 平成帝京大学 松村紀明 中央研究院 李尚仁 東北亜歴史財団 朴漢珉 中央研究院 祝平一 中央研究院 巫毓荃 二松学舎大学 町泉寿郎	近代日本外交の非主流な側面 京都大学 江子正 京都大学 Mahon Murphy 立命館大学 中村凌太郎 ケンブリッジ大学 LAM On I	理解・産出のプロセスの分析を生かした第2言語(日本語)学習の設定を考える 東京外国語大学 鈴木美加 東京外国語大学 黄 依凡 東京外国語大学 Nguyen Linh Lan 東京外国語大学 Saeng Urai Thitisorn
休憩 10:30-10:40					
	【A2】日本研究と文化表象 T505 司会 黄英哲(台中科技大學教授)	【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T506 司会 邱若山(静宜大学兼任教授)	【A8】東アジアにおける歴史認識問題 渥美財団未来フォーラム 驚声国際会議場(3階) 司会 藍弘岳(中央研究院副研究員)	【B1】東アジアにおける政治と国際関係 T601 司会 頼振南(輔仁大学教授兼副学長)	【C2】AI・DXと共生する日本語教育 T604 司会 張桂娥(東呉大学准教授)
10:40	談話冒頭の「状況(環境)」描写の日本語の指示表現 —英語の「特別用法」の it と比較して— 同志社大学 山本茉莉	視聴覚型聴解における聴解行動の考察:日本語母語者と日本語学習者の比較 東京外国語大学 王睿琪	疫病と東アジアの医学知識 ——知の連鎖と比較 2 中央研究院 藍弘岳 沖縄国際大学 市川智生 平成帝京大学 松村紀明 中央研究院 李尚仁	マラッカ・シンガポール海峡の通航をめぐる国際関係と日本外交 京都大学 范艶芬	機能動詞結合の産出における母語の影響 —中国語を母語とする日本語学習者を対象に— 東京外国語大学 林燕燕

-12:10	日本・台湾・韓国製ソフトパステルの色揃えに関する比較研究 東海学園大学 牧野暁世	文学作品の翻訳における翻訳者のアプローチに関する1考察 同志社大学 王子涵	東北亜歴史財団 朴漢珉 中央研究院 祝平一 中央研究院 巫毓荃 二松学舎大学 町泉寿郎	満州事変直前の中国東北における中国人社会と満蒙鉄道問題 京都大学 金子豊	AIを活用したやさしい日本語多読教材の開発—『蜘蛛の糸』における要約、アイデアユニット分割法、および語彙処理の統合的アプローチ— 東京外国語大学 甘利実乃
	日本語の主題卓越構造の外国語学習への転移に関する研究—日本人英語学習者の学習者言語に焦点をあてて— 名古屋外国語大学 橋尾晋平	日清戦争講和過程における「三国干渉」の継続—露仏独による遼東半島還付条件への干渉を中心に 京都大学 明海輝	GPT-Talk を用いた音声ロールプレイ練習用ボット「ロールプレイ若井さん」の設計と評価: 中級日本語学習者による 評価 東京外国語大学 守屋久美子		

東アジア日本研究者協議会運営委員パネル(驚声国際会議場)12:10-13:20 司会 黄鴻銘(東呉大学助理)

テーマ 東アジア日本研究の展望

座長 曾秋桂(実行委員長)

徐 興慶(発起人・元台湾中国文化大学学長・東呉大学講座教授)	対面
徐 一平(発起人・前北京外国語大学北京日本学研究中心教授)	オンライン
宋 浣範(高麗大学教授)	対面
南 基正(ソウル大学教授)	対面
梁 基雄(翰林大学グローバル協力大学院院長)	対面
周 異夫(北京外国語大学北京日本学研究中心教授)	オンライン
鄒 燦(南開大学日本研究院准教授)	オンライン
松田 利彦(国際日本文化研究センター副所長)	対面
友常 勉(東京外国語大学教授)	オンライン
ガラシーノ・ファクンド(大阪大学特任講師)	対面

非
公
開

黎 立仁(台中科技大学准教授)	対面
曹 景恵(台湾大学教授)	対面
羅 濟立(東呉大学東アジア地域発展研究センター主任)	対面
許 怡齡(中國文化大学准教授)	対面
原 秀樹(国際交流基金日本研究部部長)	対面
塩澤 雅代(国際交流基金日本研究部事業第1チーム長)	対面
西田 融子(国際交流基金日本研究部事業第1チーム上級主任)	対面

基調講演 朴 喆熙(元ソウル大学日本研究所長・韓国発起人) (オンライン/鷺声国際会議場)
テーマ 東アジア日本研究者協議会の前進への提言

座 長 曾 秋桂(実行委員長)

13:30-13:50

閉会式

13:50-14:00 鷺声国際会議場

司会 樋口 達郎(淡江大学助理教授)

曾 秋桂(実行委員長)

次期協議会主催ご挨拶 梁 基雄(翰林大学グローバル協力大学院院長)

11月10日(日曜日)次世代発表(その2) 場所 淡江大学淡水キャンパス驚声大楼

	【A2】日本研究と文化表象 T605 司会 伊藤豊(山形大学教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T606 司会 林雪星(東呉大学教授)	【A7】東アジアにおける思想交流 T701 司会 金孝眞(ソウル大学助教授)	【A5】東アジアにおける社会とジェンダー T702 司会 張桂娥(東呉大学准教授)	【D】その他 T703 司会 頼建承(淡江大学非常勤講師)
9:00	異文化間の歴史能力に基づく 江戸の文化解釈 東京外国語大学 Nakazawa-Csendom Andrea	「旅」としての出郷と帰郷: 鹿児島県阿久根市の「華の五十歳組」 をめぐって 神戸大学 新里勇生	道元における「山水」 総合研究大学大学院 李家明	キャラクター消費による女性同性愛表 象の機構—2010年代の専門誌『コミッ ク百合姫』の関連作品を中心に 北海道大学 郭如梅	大阪市における 市街地信用組合 —愛隣信用組合を事例に— 東京外国語大学 梁昕怡
-10:00	在日清国人の「亜雅音楽会」と 『蒙養院小學校唱歌集』(1909年) 名古屋大学 呂政慧	漢訳洋書と近代日本社会—近世コレ ラ病三大流行事件を観察に基づいて 総合研究大学院大学 蘇琦恵	東アジアにおけるクロポトキン主義の 影響と”抵抗”としての「アジア主義」— 北一輝における「相互扶助」概念と「ア ナーキズム的近代」 学習院大学 菅原薫仁	日本を超えて: フェミニズムと越境する現代アート実践 名古屋大学 李芸濃	現代日本社会の醜悪な断面:映画 『許された子どもたち』(2020年)が 描いた少年犯罪の記録 忠南大学 南相瑁
休憩 10:00-10:10					
	【A2】日本研究と文化表象 T605 司会 王憶雲(台湾大学准教授)	【A3】東アジアにおける人・物の移動と変容 T606 司会 黎立仁(台中科技大学准教授)	【A4】東アジアにおける日本語研究の諸問題 T701 司会 羅曉勤(台中科技大学教授)	【A1】「世界文学」の中の日本文学 【A9】東アジアにおける諸宗教の交流 T702 司会 頼鈺菁(淡江大学助理教授)	【A8】東アジアにおける歴史認識問題 【C1】AI・DXと人間活動 T703 司会 王薇婷(淡江大学非常勤助理教授)
10:10- 11:10	西園寺公望と近代演劇—「一次元的人 間」と記号化された歌舞伎 京都大学 易辰潮	モビリティーズ・スタディーズとしてのモ ビリティ政策研究への一考察—日本の 地方創生とデジタル田園都市国家構 想における移住言説の分析事例— 国際大学 伊藤将人	日本語教育における「相撲」の新しい観 点—海外におけるアマチュア相撲実践 報告— 専修大学 戸田隼介	日本怪異ミステリの射程 北海道大学 宮崎遼河	大東亜共栄圏構想下における 日本語教育のあり方 —日本語教育を扱う言説にみられる教育 の視座及び中国認識— 早稲田大学 野崎雅子

<p>絵本出版における創作活動—画家の制作論とその位置付けを中心に</p> <p>東京大学 山内椋子</p>	<p>17世紀欧州における豊臣秀吉の表象について</p> <p>就実大学 竹内洪介</p>	<p>多言語多文化の環境での日本語教育—中華学校に通う児童の語彙と文化理解—</p> <p>専修大学 中之内夏美</p>	<p>18世紀初頭日本におけるキリスト教布教活動—ジョヴァンニ・パッティスタ・シドティと教皇庁布教政策の研究</p> <p>京都府立大学 CAPASSO Carolina</p>	<p>日本の地域社会におけるデジタルコミュニティ作り:文化人類学の視点から</p> <p>香港中文大学 張金金</p>
--	---	--	---	---

東アジア日本研究者協議会運営委員パネル(驚声国際会議場)12:10-13:20 司会 黄鴻銘(東呉大学助理)

テーマ 東アジア日本研究の展望

座長 曾秋桂(実行委員長)

徐 興慶(発起人・元台湾中国文化大学学長・東呉大学講座教授)	対面
徐 一平(発起人・前北京外国語大学北京日本学研究中心教授)	オンライン
宋 浣範(高麗大学教授)	対面
南 基正(ソウル大学教授)	対面
梁 基雄(翰林大学グローバル協力大学院院長)	対面
周 異夫(北京外国語大学北京日本学研究中心教授)	オンライン
鄒 燦(南開大学日本研究院准教授)	オンライン
松田 利彦(国際日本文化研究センター副所長)	対面
友常 勉(東京外国語大学教授)	オンライン
ガラシーノ・ファクンド(大阪大学特任講師)	対面
黎 立仁(台中科技大学准教授)	対面
曹 景恵(台湾大学教授)	対面
羅 濟立(東呉大学東アジア地域発展研究中心主任)	対面
許 怡齡(中國文化大学准教授)	対面
原 秀樹(国際交流基金日本研究部部長)	対面
塩澤 雅代(国際交流基金日本研究部事業第1チーム長)	対面
西田 融子(国際交流基金日本研究部事業第1チーム上級主任)	対面

非
公
開

基調講演 朴 喆熙(元ソウル大学日本研究所長・韓国発起人)(オンライン/驚声国際会議場)

テーマ 東アジア日本研究者協議会の前進への提言

座長 曾秋桂(実行委員長)

13:30-13:50

閉会式

13:50-14:00 鷺声国際会議場

司会 樋口 達郎(淡江大学助理教授)

曾 秋桂(実行委員長)

次期協議会主催ご挨拶 梁 基雄(翰林大学グローバル協力大学院院長)